

平成26年9月2日(火)

老球の細道55号

バスケットボール誕生秘話 (I)

会津バスケットボール協会理事長 室井 富仁

かつて体育の授業を通じて色々なスポーツ誕生の由来を生徒に質問することを常にしてきた。しかし、ほとんどの生徒は答えられない。そのスポーツ部活動を通して自分の夢を毎日追いかけているのにもかかわらずである。サッカー部の生徒に、「サッカー」の名前のルーツをたずねてもほとんど答えられない。バドミントン部の生徒に「バドミントン」の名前のルーツを質問しても以下同文である。わがバスケットボール部員も例にもれずだった。愛する人の誕生日を知るように、愛するバスケットボールの誕生秘話を覚えておくのは「アイ・ラブ・バスケットボール」を標榜する者のエチケットであり、常識である。

バスケットボールは1891年12月21日アメリカのマサチューセッツ州スプリングフィールドにある「国際YMCAトレーニングセンター」(現スプリングフィールド大学。過去に会女時代の卒業生も在籍)の教授だったジェームス・ネイ・スミスが創案した。

創案にいたったきっかけは、YMCA トレーニングセンターで学ぶ学生達の冬場の心身を鍛えるための運動種目を考え出すことであった。屋内でも楽しめる新しい球技スポーツを創り出すことがネイスミスのミッションとなった。基本はラフプレーのないゲーム。

既存の球技スポーツを屋内でプレーさせながら色々なヒント、アイデアを産み出していく。ラグビーによってタックルによるラフプレーを防止するには、ボールを持って走らせないようにすればよい。サッカーやラクロスのシュートによって体育館の破損や足の怪我等が続出した。それはゴールが地上にあり、キーパーがいるために強いシュートをするからだと気づく。その時スミス教授は少年時代に過ごしたカナダ・オンタリオ州アルモンドで遊んだ「雄鴨落とし」(小石を弧を描くように投げ上げる)を思い出し、ゴールを高いところに設定しキーパーを置かなければ、シュートは山なりのアーチを描くソフトなシュートになるのではないかとひらめいた。

あれこれ試行錯誤しながら新しいゲームの基本5原則が考え出された。

- ①ボールを使う。ただし、軽くて両手で持てる大きさにする。小さなボールは用具を使う。
- ②ボールを保持したまま走れない。タックルをなくし、後にトラベリングルールとなる。
- ③ゲーム中は両チームの誰でもがボールをプレーすることができる。
- ④身体接触は禁止。
- ⑤ゴールは水平で頭上の高い所へ設置する。

新しいゲームの目的は、ボールを片手か両手で扱い、コート内であればどの方向にパスしてもよい条件のもとに、自分たちのゴールの中にボールを入れることだった。体育館2階の張り出し部分にゴールが取り付けられた。ゴールは桃の桶が使用され、床から高さ10フィート(3M5cm)に取り付けられ、現在でもその高さは変わらない。ちなみに、ゴールは桃の籠を使用したと伝えられてきたが、実は桃を入れる桶だったのである。

ではなぜ「バスケット(籠)ボール」と命名されたのか(私達が高校生の時は生徒会規約の運動部名は「籠球部」だった)。シュートが入った後ボールがゴールからすぐに床に落ちるようにするために、桃の桶から鉄のリングと鎖のネットにゴールが改良された。その鎖のネットが籠のような網目に見えたところから「バスケット(籠)」と命名されたと

言われている。

本来ならば最初に桶を使ったことから「タブ (T u b) ボール」と言われるべきところ、紆余曲折を経ながら「バスケットボールボール」に命名されたのである。人間の名前にも色々な理由や想いがあるように、スポーツの名前の由来にもたくさんのエピソードと裏話があって興味は尽きない。

話は戻り、新しいゲームは、コートが体育館のフロア全部でラインなどなかった。縦 15メートル、横 11メートルの広さで、現在のコートの半分くらいしかない。使用したボールはサッカーボールだった。

史上初のゲームは12月21日の第4時限目（11時30分～12時30分）の体育の授業。その授業は1, 2年生が合併履修で24名受講していた。しかし、その日はたまたま6人が欠席していて、残り18人が出席。かくして、まったく偶然に、史上初のゲームが9人対9人で行われた。そして驚くべきことに、その中に日本人留学生がいたのである。石川源三郎、世界で初めてバスケットボールをプレーした日本人である。

ゲームは13か条のルールで行われたが、初めてのゲームだったので大荒れに大荒れだったらしい。ルール上はボール保持者が場所の移動もできず、身体接触も禁じられていたのだが、当時の学生にはフットボールのイメージしかなかった。そのクセが出てしまい、ボール保持者に敵味方が殺到して乱闘さながらだった。ファール続出、激闘すること約1時間。マサチューセッツ州ニューベッドフォード出身の W・C・チェイスが思わずフロアの真ん中から投げたブザービーターのロングシュートが奇跡的に成功してゲームが終了。

その後、バスケットボールの人気は全米各地に伝わり、全世界に広まっていった。当時の全米各地の YMCA に送られた機関誌に次のような広告が掲載された。

「バスケットボール。まさにフットボールをしのぐ “A New and Popular Game”」。ボールをキックするのではなく弧を描くように投げ上げ、足で蹴りこむのではなく手でゴールにショットし、タックルしてダウンさせるのではなく、空中で行き交うパスでつなぐ。人数の多少にかかわらず楽しめるゲームだし、屋内、屋外どちらでもできる。“やるスポーツ” としても “見るスポーツ” としても堪能できる」